

Nihon Molecular Devices, Co., Ltd

Imaging Team

SalesNote-FY1001

掲載内容

製品情報

電動 XY ステージと培養装置セット、キャンペーンの御案内
磁気浮上型次世代除振台 の名称が Maglevit に変わりました。

技術情報

OS 対応、Windows 7 へのサポートについて
当社より販売している PC のモデル移行の御連絡

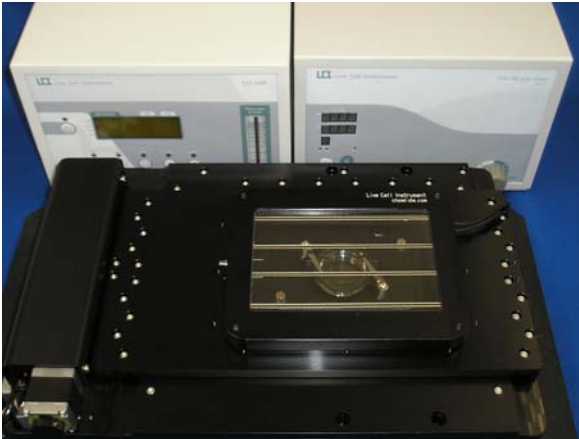
Journal のご紹介

Journal menu の Journal Control について

製品情報

電動 XY ステージと培養装置セット、キャンペーンの御案内

倒立顕微鏡用電動 XY ステージ NMDC-MSS-BT と培養装置 Chamlide TC のバンドルキャンペーンを行います。



電動 XY ステージ に培養装置を設置



培養装置 Chamlide TC

こちらに更に、CO2 ガス混合機を付けて、**販売価格 ¥2,980,000-**のキャンペーンを実施致します。

キャンペーン期間は、2010 年 3 月末までのご注文とさせていただきます。

NMDC-MSS-BT 電動 XY ステージは、さらに性能が上がり、繰り返し精度が向上しました。

培養装置は、MetaMorph ソフトウェアからの温度制御可能なタイプでドライバを追加することで、Timelapse 中の温度変化をデータ取得毎に画像と一緒に記録させることが可能です。

FC-5 ガス混合機は、Chamlide TC と一緒に使用することで、5% 混合ガスを安定し供給することが可能になります。

なお、Chamlide TC (汎用性インキュベータ) システムの構成ですが、同じ金額で御注文時までにご指示頂ければ、Chamlide IC (35mm ディッシュ用インキュベータ) システムや Chamlide WP (ウェルプレート用インキュベータ) システムへの変更も可能です。

磁気浮上型次世代除振台 の名称が Maglevit に変わりました。

現在、御注文、更にはたくさんの引き合いを頂いております磁気浮上型次世代除振台ですが、名称を「Maglevit」(マグレビット)に変更しました。

今回は、MegFloat から、Maglevit への名称の変更のみで仕様の変更はございません。

技術情報

OS 対応、Windows7 へのサポートについて

Windows 7 がリリースされ、Meta Imaging series software での正式サポートの日程調整中ですが、日本国内で、Windows 7 へのインストールを実行しチェックを進めております。もう暫く、サポート対応の情報をお待ち下さい。Windows7 の仕様としては、Ultimate および Professional での対応を予定しています。

CCD カメラなどのハードウェアの組み合わせに関しては、ハードウェア側のサポートされていない可能性もありますので、ご注意ください。

なおインストール用 CD ですが Meta Imaging Series Ver7.6 の CD からでは Windows 7 にはインストールできません。新しいインストール用 CD が必要になりますので、こちらも合わせて次回のセールスノートでご紹介致します。

当社より販売している PC のモデル移行の御連絡

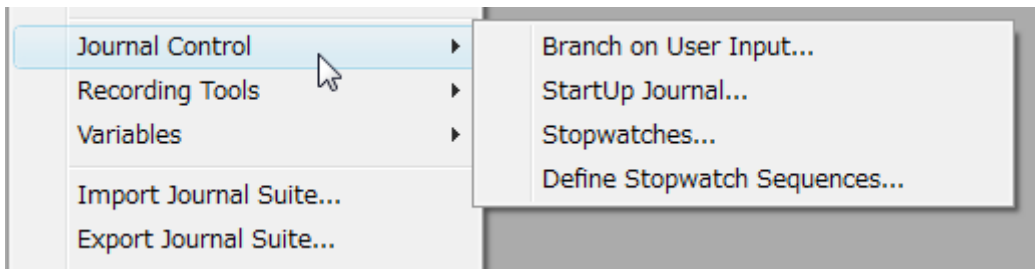
当社より販売させて頂いております PC ですが、Precision T3400 から T3500 へ移行します。

仕様等が、価格表にあります内容から変更になります。事前に書類作成等で仕様を確認されたい方は、当社担当営業までお問い合わせください。

Journal のご紹介

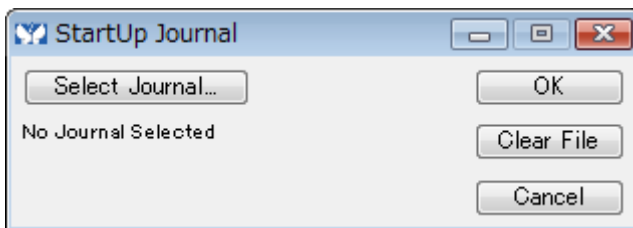
Journal menu の Journal Control について

ここでは、MetaMorph ソフトウェアの Journal メニューの中の Journal Control について紹介します。



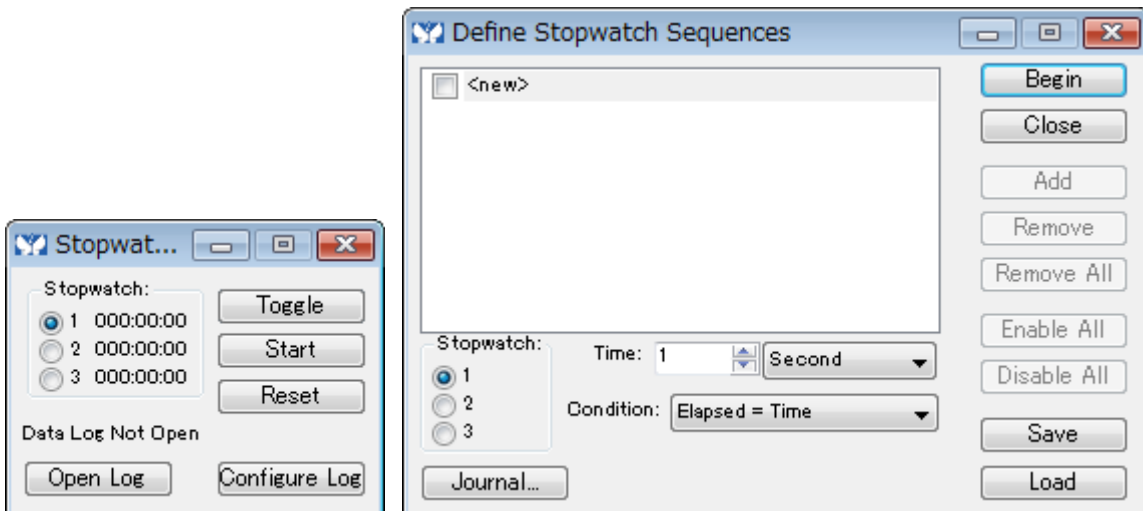
Journal コントロールとは、マクロである Journal をコントロール・設定を行う部分になります。

例えば、Startup Journal を選択しますと、下記のようなウィンドウが開きます。



Select Journal のコマンドボタン部分で、Journal を登録することで、MetaMorph を起動する時に設定した Journal を実行することが可能です。

Stopwatches では、タイマーのような設定が可能で、実際にどれくらいの処理をおこなったかや、Timelapse のインターバルとは別の時間で処理したい内容などを、この Stop-watch と Journal を使用して設定することができます。



さらに、Define Stopwatch Sequences のウィンドウを使って、ストップウォッチのタイマー設定と Journal を簡単に設定することが可能です。

Branch on User Input のウィンドウは、If 構文を Journal 内で設定せずにユーザー側が、Yes, No ボタンをクリックした際にそれぞれ別の Journal が実行されるように設定できる簡単なツールです。

Journal は Variable などでより強力なマクロにもなりますが、これらのように簡単に設定できるというのも便利なものです。

以上